

テーマ：かたち

東大井保育園 対象：3歳児

<設定の理由>

形は日常的に様々な場面で目に触れているものであり、関心をもっている姿が見られる。形のもつ特性に興味を示し、色々な形を組み合わせたり見立てたりして遊んでいることから、子ども達の興味関心をさらに深めるため

① ニューブロック



- 凸凹を組み合わせれば、簡単に色々な形を作ることができる
- 形の種類や色が豊富
- はめると外れない設計のパーツがあり、タイヤ等にして回せる

① アーテック



- 凹凸を組み合わせる
- 凸部分がかたで重ならないように組み合わせる必要がある
- 基本の形は口と△の2種類
- 目玉やジョイント部品あり

③ 積み木



- シンプルな構造
- 並べる、積むことで構成
- 角が削れた安全な仕様
- 手に取りやすい大きさ

活動① 大好きなニューブロックで遊ぼう

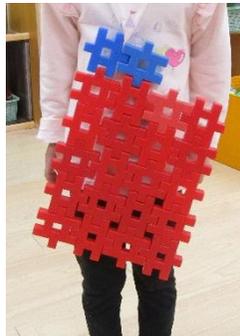
～親んでいる遊びから「かたち」にふれる～ 形との出会い

●活動内容

・このブロック、なんの形が作れるの？「アイスとかジュース」「車とか」「なんでも作れるよ」へえ、すごいね。どの形を使うの？「これ（井形）をこうやって繋げるの」「ここに棒をさす」「丸をつける」と、作りたいもの、思いついたものを迷わずに作り出す



・いっぱい作って「アイス屋さん。棒のところ持つんだよ」「いらっしゃいませ～」「ハンバーガーとジュース セットです」「エプロンつけてお店屋さんなの」



・たくさん使っても大丈夫なんだよ
・友達と合体して、大きくしたんだ

保育者の振り返りと気づき

- ・ブロックの形の違いがわかり、作りたいものに見合った形を選びながら容易につないでいる
- ・立体的なもの、大きなものを作ることができ、パーツのはめ方によっては斜めにしたり立てたりと、思い描いた形を作りやすい持ち歩くことができるので、簡単に遊びが広がりやすい
- ・同じ形を作っても色の違いで見え方が異なり、違う遊びに変化させている
- ・保護者に見せたい気持ちを汲み、飾るスペースを作ったり写真に撮って見られるようにすると、ますます意欲的に取り組んでいる

用意した環境

- ・常時設定している（親しみがある）・進級当初から使用
- ・豊富な数 ・人気のパーツがあるので追加購入
- ・箱とかごを用意し作るものや場所により選べる

活動② アーテックブロックを使ってみよう

～同じ「かたち」をつなげて色々なものを作ってみる～ 形を意識してみる

●活動内容

アーテックブロックをテーブルに出し「今日は何を作ろうかな～」と子ども達の前でつぶやいてみる。一人が見本を見ずにできる簡単な形を作り始めると、色違いで作り始めたりする



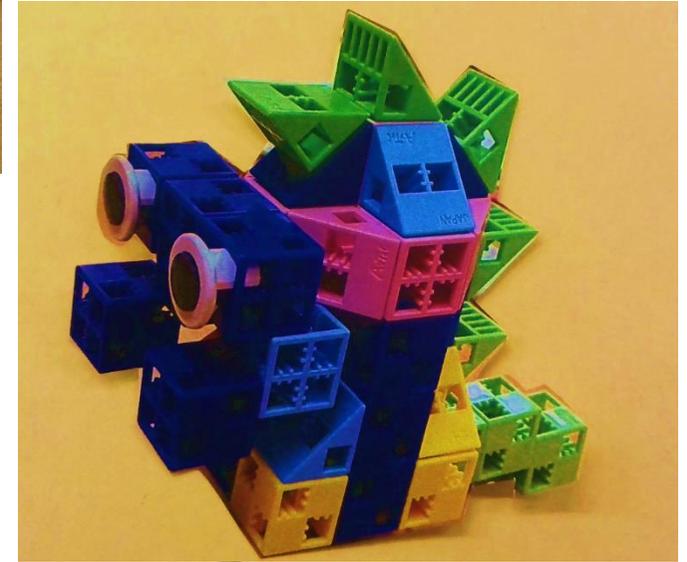
「ねえねえ。葉っぱにのせたの」「こっちはお家なんだよ」と、部屋にある違う素材も組み合わせて見立て遊ぶ



- ・「黄緑の四角ちょうだい」同色のみ使い平面的につなげる
- ・「草みたいだね」「この子たちの食べ物にしようよ」と、同じ色の四角を重ねて動物に見立て遊びだす

環境をデザインする

- ・テーブル上に出してみた
- ・常設の見本写真を広げておく
- ・使いたいだけ使える量や色がある



「三角がさ～、トゲトゲになってさ～、四角が体で～。これ（目）つけたら恐竜ができた！」と喜ぶ

保育者の振り返りと気づき

- ・繋げていくうちに、凸と凹がはまらない位置があり、横から見たり回したり「なんで？」と考えたりして、角度を変えはまる場所を見つけ、思った形を実現させようとしていた。繋げて作る形を実現させるためには凸凹の向きを考える必要があることに気づいた
- ・これまで使っていたニューブロックとは違い、曲線やナナメにつけることができないので、自分なりに形を考えて、見立てたいものらしく作ろうとする姿がある
- ・保育者が丸い形の画用紙を渡すことで、さらに遊びが広がり自分のイメージの「形」作りのための素材を選び遊ぶ姿があった
- ・自分なりの形がうまく実現できなくても、友達の商品を見たり真似たり作ってもらったりして、友達との繋がりから形の実現に向けていた

活動③ つみきで何ができるかな

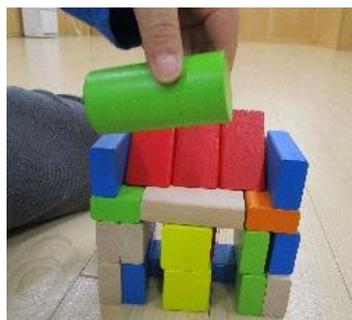
～立体を意識して形を作る～ 形の特徴を活かして構成してみる

環境をデザインする

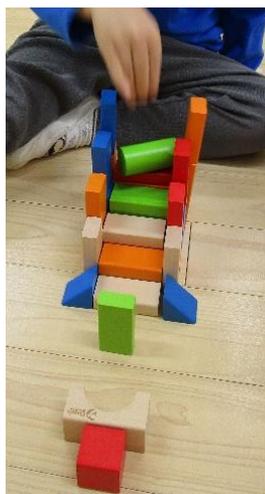
- 新しく購入したつみきとの出会い
- つみきのみをホール（広い場所）に2箱置く
- クラスの半数の人数で行う

●活動内容

新しいつみきがやって来た。はじめまして。見立ててごっこ遊びが大好きな3歳児クラスが、持ち歩けない「つみき」でどんな形作りを楽しめるのか



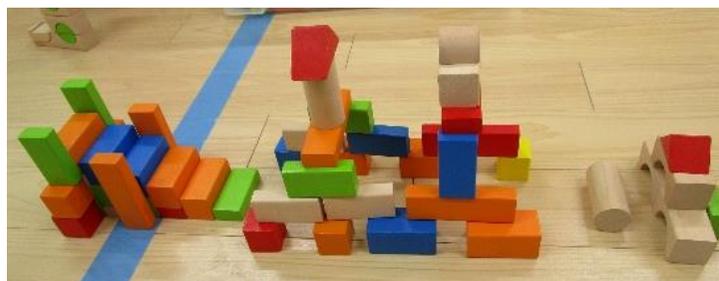
わっ！この丸いの置いたら
転がるじゃん
コロコロコース作りたい！



コースだからゴール
がなきゃダメ。ドミノ
みたいに倒して四
角をゴールにしよう



完成！やったー！
よし、転がすよ



公園

大好きな青で作っ
てみようかな

保育者の振り返りと気づき

- 丸い面を下に向けると「シーソーみたい！」と揺れる様子を喜ぶ。形の特徴に気づいたことで、そこから様々な形を構成して公園作りへと発展した
- ブロックとは性質の異なる積み木に、はじめは少し戸惑う様子を見せた子もいたが「何色が好き？」と聞くことで、好きな色から積み木に触れていた。積み上げながら、空間を意識して高さを出しながら、形を考えて作りだしていた
- 保育者の「ぴったりだね」の声に嬉しそうになつづき、バランスを取りながら形を「ぴったり」にすることを意識していた
- 保育者が場を調整し、一人やグループごとにスペースを作ることで、高さを出すことを喜ぶ様子や「お家」「公園」「ピタゴラスイッチ」「ころころコースター」等、積み木ならではの形作りにじっくり取り組む姿が見られた